

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-3 農林水産業の担い手の確保・育成
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農業経営課長 栗原 一郎	電話番号	0852-22-5392
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	青年農業者の資質向上事業		
目的	(1) 対象	青年農業者	
	(2) 意図	青年農業者の資質向上が図られ、経営規模の拡大など生産振興に積極的に取り組む	
事業概要	<p>【農業士活動】農業士による青年農業者等の担い手への実践的な支援を実施するとともに、農業士と行政機関等との連携や農業士の情報収集等の積極的な活動を幅広く推進し、青年農業者等の担い手育成を推進する。</p> <p>【農業高校地域連携推進事業】農業系高校生徒等を将来の地域農業の担い手として育成するため、人材育成から地元就農まで一連の対策を地域の関係機関と連携して取り組む。また、農業高校と地域との連携を深めるため、高校コーディネーターを設置し、情報共有を図る。</p> <p>【全国農業青年交流会議派遣事業】全国段階で開催される会議等に地域の代表たる青年農業者組織の代表者等を派遣する。</p>		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	資質向上率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	研修、交流会参加数	目標値		200	200	
			実績値	219	187	166	84		
			達成率		93.50	83.00	42.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
									目標値
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,639	1,437
うち一般財源(千円)	4,147	878

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【農業士活動】8名の農業士を新規に認定し、農業士の確保に努めた。また、地区ごとに指導力向上に向けた研修会の実施や、中国四国地域農業士研究会に16名の農業士が参加し、資質の向上を図っている。

【農業高校地域連携推進事業】5つの農業系高校が連携した販売体験等を実施している。農業系高校から農林大学校へ17名が進学、農林大学校卒業後5名が自営就農、13名が雇用就農した。

【全国農業青年交流会議派遣事業】全国・中四国段階での各種会議・研修会等へ当該事業を活用して延べ6名の青年農業者を派遣した。派遣者は、当該会議・研修会等で得た情報や体験を地区並びに県青年クラブ協議会での活動に活用している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

【農業士活動】農業士に対する研修会の実施により、新規就農者の指導における心構え等、受け入れる際の意識改善がなされた。

【農業高校地域連携推進事業】地域の関係機関との情報の共有が図られた。

【全国農業青年交流会議派遣事業】県内の農業青年農業者間または県外青年農業者（鳥取県）との交流が活発化している。また、H28年度には鳥取県との共催による、「中国四国地域若い農業者の集い」を開催予定であり（会場は鳥取県内）、資質向上・相互交流の場として活用予定である。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

【農業士活動】農業士の高齢化が進んでいる。

【農業高校地域連携推進事業】農林大学校入学者のうち農業高校の割合は約50%である。

【全国農業青年交流会議派遣事業】1ターン就農者や近隣に同年代の青年農業者がいない地域にあっては、当該農業者が点在し、青年農業者間の交流や情報交換がしやすい場合がある。

②困っている状況が発生している「原因」

【農業士活動】農業士の魅力が少なく新規認定者が少ない。

【農業高校地域連携推進事業】進路決定の際に、農林大学校を選択する動機づけの不足。

【全国農業青年交流会議派遣事業】青年農業者組織が存在しない、または活動が停滞していることも要因の一つと考えられる。

③原因を解消するための「課題」

【農業士活動】農業士の認知度やステータスの向上

【農業高校地域連携推進事業】進路選択時に農林大学校への進学を選択してもらえるような魅力アップ活動

【全国農業青年交流会議派遣事業】仲間づくりやネットワークづくり等の情報交換・資質向上の場を提供していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

【農業士活動】農業士の認知度向上に向けたPRや表彰への推薦を行う。

【農業高校地域連携推進事業】将来の職業として農業を選択してもらえるよう、就農までの道筋をイメージできる取組を行う。

【全国農業青年交流会議派遣事業】各地方機関の農業関係組織（普及）と連携し、現状把握を踏まえながら仲間づくりやネットワークづくりの是非・可能性について模索し、将来的には農業だけでなく異業種も含めたネットワーク（コミュニケーション）づくりを誘導していくことが重要である。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）